

11月は「児童虐待防止推進月間」です

いちはやく

189 ちいさな命に 待ったなし

児童虐待に関する相談対応件数は依然として増加傾向にあります。子どもの命が奪われる重大な事件も後を絶たず、児童虐待の問題は社会全体で解決すべき重要な課題となっています。家庭や学校、地域で協力し子どもを守りましょう。

児童虐待とは…

児童虐待は、保護者が子ども（18歳未満）の心身を傷つけたり、すこやかな成長・発達を損なう行為です。児童虐待は以下の4つに分類されます。

①身体的虐待

- ▶ 殴る、蹴る、投げ落とすなどの暴力
- ▶ やけどをさせる
- ▶ 冬に戸外に締め出す
- ▶ 意図的に子どもを病気にさせる など

②心理的虐待

- ▶ 大声や言葉による脅かし、脅迫
- ▶ 子どもを無視したり、拒否したりする
- ▶ 他のきょうだいと著しく差別的な扱いをする
- ▶ 子どもの前で配偶者などにDV（暴力、暴言、無視など）をする など

③ネグレクト（養育の拒否・怠慢）

- ▶ 適切な衣食住の世話をしない
- ▶ 家に閉じ込める（学校に登校させないなど）
- ▶ 重い病気になっても病院へ連れて行かない
- ▶ 同居人の虐待の放置 など

④性的虐待

- ▶ 性的ないたづらを強要する
- ▶ 性的関係を要求する
- ▶ 性的行為を見せる
- ▶ ポルノグラフィーの被写体にする など



▶子どもからのサイン

- いつも泣き叫ぶ声や悲鳴が聞こえる
- 不自然な傷や打撲、やけどの痕がある
- 衣類や身体がいつも汚れている
- 夜遅くまで一人で家の外にいる

▶保護者からのサイン

- 小さな子どもを残したまま、よく外出する
- 子どものけがについて不自然な説明をする
- 子育てに無関心・拒否的である



児童虐待かもと思ったら、次の窓口へ連絡してください。連絡は匿名で行うこともできます。連絡者や連絡内容に関する秘密は守られます。

▶児童相談所全国共通3桁ダイヤル

(☎ 189) ※最寄りの児童相談所につながります

▶子育て支援課 (☎ 44-4611)



町は、高橋由一町長を団長とする公式訪問団を、10月8日～15日まで姉妹都市ドイツのライネフェルデ・ヴォアビス市に派遣しました。公式訪問はライネフェルデ市50周年記念式典への招待に合わせ訪問を行いました。

高橋町長、伊藤雅章町議会議長、菊地成寿さん、佐藤裕子さん、事務局の5人が、10月11日にオーバーアイヒスフェルデホールで行われた記念式典に出席。高橋町長は「2002年9月に姉妹都市提携をしてから今まで築き上げてきた交流を確認するとともに、その意思を受け継ぎながら、両市町の友好的な交流を今後も継続していきたい」とあいさつし、友好を記念する盾をマルコ・グロサ市長に贈呈しました。

10月13日には、市50周年記念パレードが開催されました。訪問団はプレゼントされたライネフェルデ・ヴォアビス市章が入ったネクタイやスカーフを身につけてパレードに参加し、市民と交流を行いました。

また、公式行事以外の時間は、公共交通機関を担当する企業や、2024年に開催される庭園博覧会の説明と現地視察。また、約1800畝の農地を10人の作業員で耕作する農業法人などを視察しました。



ライネフェルデ・ヴォアビス市を背景に笑顔みせる訪問団とマルコグロサ市長（2列左）ほか現地関係者

姉妹都市ドイツチューリンゲン州 ライネフェルデ・ヴォアビス市へ 公式訪問団を派遣



ライネフェルデ・ヴォアビス市役所



温かい歓迎を受けました



式典で記念盾を受け取るマルコ・グロサ市長（中央）

ライネフェルデ・ヴォアビス市はドイツのほぼ中央に位置します。2004年にライネフェルデ市他2市7町が合併し、ライネフェルデ・ヴォアビス市となりました。東西統一前は東ドイツに属し、羊の飼育、それに関連した羊毛、毛皮の取引がこの地方の経済の中心でした。社会主義時代に建設されたパネル建築住宅がライネフェルデ市の住居の90%を占めていて、現在ははこの住宅団地の再生事業を基幹としたまちづくりを展開しています。2007年には「最も持続可能で環境負荷の少ないライフスタイルを実践している者」に与えられるワールドハビタットアワードを受賞しています。

▼まちの特徴
ライネフェルデ・ヴォアビス市はドイツのほぼ中央に位置します。2004年にライネフェルデ市他2市7町が合併し、ライネフェルデ・ヴォアビス市となりました。東西統一前は東ドイツに属し、羊の飼育、それに関連した羊毛、毛皮の取引がこの地方の経済の中心でした。社会主義時代に建設されたパネル建築住宅がライネフェルデ市の住居の90%を占めていて、現在ははこの住宅団地の再生事業を基幹としたまちづくりを展開しています。2007年には「最も持続可能で環境負荷の少ないライフスタイルを実践している者」に与えられるワールドハビタットアワードを受賞しています。

▼金ヶ崎町との交流のきっかけ
2000年10月、城内諏訪小路伝統的建造物群保存地区の調査・指導を行っていた大学教授が、ライネフェルデ市長へ当町の歴史的な町並みについて紹介したことから交流が始まりました。その後、2002年9月に金ヶ崎町長を団長とする訪問団がライネフェルデ市を訪問し、姉妹都市提携を行いました。